

おおいた
リアスの海の島めぐり

Explore the remote islands off Oita's rias-style southern coast

海と風と
島時間





黒島



保戸島



深島



大入島



屋形島



大島



無垢島



網代島

黒島

Kuroshima

オランダの風薫る南国リゾート

リーフデ号が到着した江戸時代へ思いを馳せつつ
美しい砂浜での海水浴＆キャンプでリフレッシュ。



渡船がいざなう島遊び
海水浴にキャンプ、散策、島探検。
島を歩けば17世紀のオランダ船
「リーフデ号」到着の記念公園。
陽光にキラリ輝く日時計、壁画
南蛮文化と出会えた奇跡。
島の奥には、スタジイ林に眠る
古墳や戦国時代の水軍砦跡も。
歴史と自然と南国ムード漂う黒島へ。



日蘭交流400周年を記念し、オランダより贈られた日時計



ウィリアム・アダムス(三浦按針)像を中心に、
ヤン・ヨーステン像(前)、エラスムス像(奥)が並ぶ



南国を思わせる木々が並ぶ



上陸時の出会いの情景を描いた絵画「出会い」の碑



ビーチの反対側にも澄んだ水がとても美しい海岸が広がる

南国ムードにあふれる、海岸通りのフェニックスや鮮やかなハイビスカス。周囲3キロの小さな黒島は、毎年夏になると海水浴やキャンプ、釣りを楽しむ多くの人で賑わいます。少し歩くと、リーフデ号到着・三浦按針上陸の記念公園へ。ここは日本とイギリス・オランダとのはじめての出会いの島でもあったのです！一方、島の南側は岩場で、太古の地殻変動を示す佐志生断層が見られます。

スダジイの林に入れば、木々の間に古墳時代の円墳などが今も残り、当時は祭礼の島だったと伝わるほか、中世の水軍砦跡と思われる石組みもあり、島の古い歴史に驚くばかり…。さらに島には、農家の方が船で通い、大切に守り育てているみかん畑も広がっています。島じゅうに、新たな出会いや発見の喜びにあふれている黒島で、心も体もリフレッシュしてみませんか？



年季の入ったみかん運搬用のレールは今も稼働中



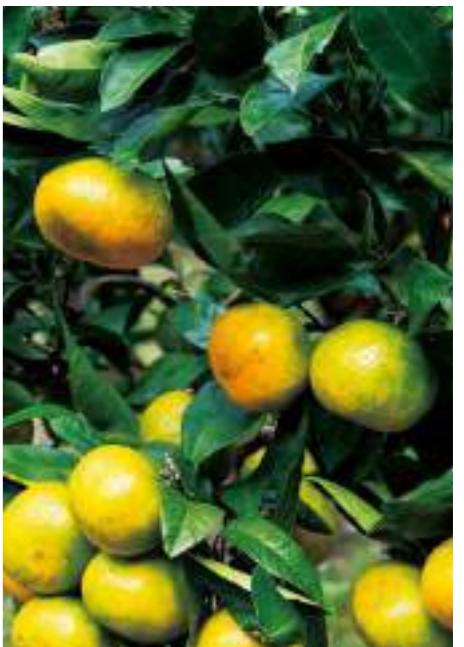
夏は、海辺のリゾートでのんびりとしたひとときを



岩場には各断層の特色を持つ石がちらばっている



横に伸びる佐志生断層と波がつくり出したスフィンクス岩



海水浴シーズンは、にぎやかな歓声と笑顔があふれる





保戸島

Hotojima

狭き路地に迷う愉しみ

斜面に密集する三階建ての家々が描く漁村風景は
マグロ漁基地として歩んできた島の歴史の物語

港を出ると、津久見の象徴
白い地肌のセメント山の風景が徐々に遠ざかり、
群青色の海の波間に運が良ければイルカの群れが。
吹き付ける強い潮風越しには、南欧を思わせる島の街並み。
保戸島港への第一歩は、積荷をおろす賑やかな声と共に。
行交うリヤカー、てぼを背負う島の人々が向かう先は、
狭い路地と急階段に面するわが家。

未来に残したい漁業漁村の歴史文化財産百選

2006年水産庁により発表、全国の漁村に残る文化遺産を選定
斜面に密集して建つ四角いコンクリートの家々は3~4階建てが多く、地中海南欧の街並みを思わせる
気づけば足下にも息があり、地階がある家も少なくない



保戸島の愉しみ方といえば、やはり地図を片手に路地散策!
狭い路地沿いの商店で、新鮮な魚介を使ったお弁当を買い、迷路のような階段を探検すると、何度か視界が開けた瞬間、密集する屋根越しに見下ろす港の風景が不思議と心に残ります。一方、山越えの桜並木の道を歩くと、島の中央、遠見山頂上の風景と並ぶ絶景の撮影ポイントが!
島の反対側に出ると、風力発電の風車、

堤防の釣り人の姿、さらに岩場に彫り込んだ急な石階段が目に入りますがその向こうには、港側とは対照的な静かな石浜が広がっていました。
その昔、突きん棒漁でカジキを追っていた島の漁業。やがて東北三陸沖から南洋へ、マグロの延縄漁に形を変え、島は、マグロ漁の基地として栄えてきました。島の食事処では、マグロの心臓やかぶと焼きなど、めったに味わえない美味・珍味を楽しめます。



深島

Fukashima

サンゴの島でネコと語らう休日

いのち
生命あふれる島の自然と豊かな海

島民と共に暮らすのは、島育ちの自由気ままな島ネコたち

サンゴも生息する美しい海に抱かれた、リアスの海の小さな島。

暮らしているのは20人以下のわずかな島民と、人懐こい約100匹のネコたち。

日向灘を見下ろす灯台へと続く森には

鳥のさえずり、木漏れ日の下で花と戯れるアサギマダラ。

豊かな自然といのちの輝きあふれる島で、

ふと日常を忘れるひとときを。



島のあちこちでネコたちが迎えてくれる



深島食堂のランチ(要予約)、昔ながらの深島みその味噌汁も美味しい



サンゴ礁を泳ぐトロピカルな魚たち



シュノーケリングでサンゴの海を楽しめる

蒲江港から約8km の深島へは1日3往復の定期船で



黒潮の温かく、早い潮の流れによって育まれた
色とりどりのサンゴやたくさんの海の
いきものたちが磯に息づいています。
渡り鳥には、羽をやすめる休憩地であり、
島はいのち輝く豊かな自然にあふれています。

島では野菜をおすそ分けし合ったり、おばあちゃん達から伝えられてきた方法で麦味噌をつくったり、深島ならではの静かな生活を営んできました。そのかたわらには、島民の家族のように寄り添う100匹近いネコの姿。一匹一匹に名前が付けられるほど島の人々に愛され、守られてきた彼らを訪ねて、島はここ最近「ネコの島」としても知られるようになってきました。深島を訪れた人にも人懐こい島ネコですが、自由気ままなネコたちを追いかけて、気が付けば島中を歩きつくしていた、なんてことも。

島で唯一のカフェ「深島食堂」の前にもネコ、ねこ、猫!

海と自然とネコと過ごす、深島での気ままな休日は日常の忙しさも忘れさせてくれる気がします。



イケメンネコの「バジル」



豪華な毛並みが貴重の「みーちゃん」



透き通った瞳がきれいな「チーズ」



寒い季節にお決まりの猫団子



ネコたちをお供にお散歩。



深島大明神 言い伝えでは犬を飼ってはいけないとされている



島にはネコと一緒にヤギも暮らしている



昔ながらの方法で造る深島みそ



春と秋に旅するアサギマダラも立ち寄る



堤防の木陰でうとうとする「のっぺ」



透き通った瞳がきれいな「チーズ」



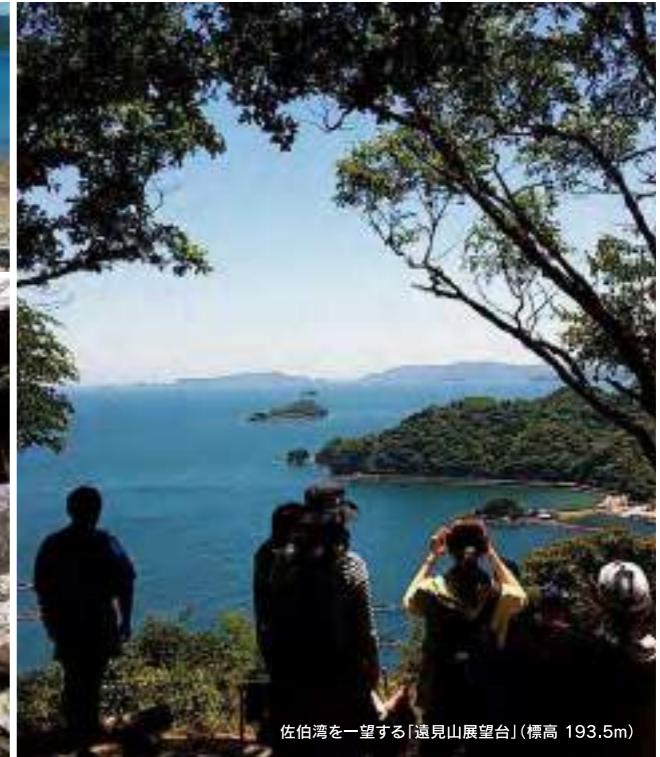
大入島

Onyujima

五感で体験、島散策

小さな島の今昔を感じながら巡るトレッキングコース
歩く、走る、登る、思い思いの時間を

千客万来、大入の島—という
縁起の良い名を持つ大入島。
古くは神武天皇の伝説が残る島で、
万葉歌碑や奇岩を望む海岸や、
潮風を感じながら「海の細道」を散策。
日暮れ時、島の海岸線を歩けば
遠く幾重にも重なる山々に沈み行く
夕陽の景が海面に揺らいでいる。



佐伯港から定期船で約10分、そこに浮かぶのはひょうたん型をした大入島。ひょうたんのくびれの部分にある港に到着すると、姉妹都市のグラッドストン市(オーストラリア)との友好の証、カンガルー像やトーテムポール、記念樹が異国情緒を演出してくれます。島の外周、約17kmの海沿いの道や集落の路地を歩けば、神武天皇の伝説や島の歴史に触れながら、牡蠣の養殖など漁業を営む島民の姿、島生まれの子ども達の練習のために設置し

たと言われる、唯一の信号機など島の暮らしを垣間見ることもできます。島のあちこちに咲く季節それぞれの草花、打ち寄せる波によって削られた海岸線の岩々を見て歩くのも島散策の楽しみ方のひとつです。お世話好きの島民から声をかけられて、つい寄りみちしてしまうのも大入島らしさ。その日その日で様々な表情を見せる大入島の自然や、島民の暮らしを感じる島散策に出かけてみませんか？



屋形島

Yakatajima

繋がりを深める島時間

遊び方はアイデア次第、自由自在

入り組んだ湾の入り口を守るように浮かぶ屋形島。

船を下りると、色鮮やかなヒオウギ貝の養殖場が。

島の道を奥に入れば視界が開け、広い野原と
のびのび伸びるソテツの巨木。

龍王山の向こうには、陽光まぶしい青い空に白い雲。

日常を忘れる穏やかな島世界で、何をするかはあなた次第。

海の自然と潮風に抱かれた、人口わずか十数人の屋形島。

その昔、佐伯の里の地域から海を渡り、移り住んだ人々が作った
畠跡を巡る小路を歩けば、ちょっとした迷路散策。

そこには古い石垣や、手押しポンプが残り、
かつての面影を残している。

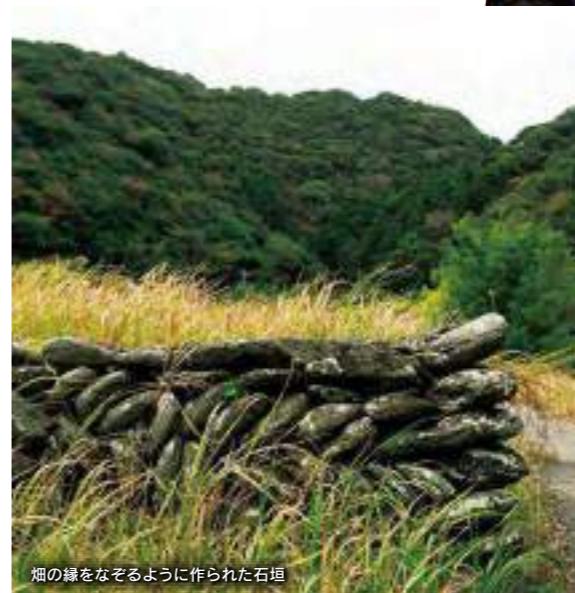
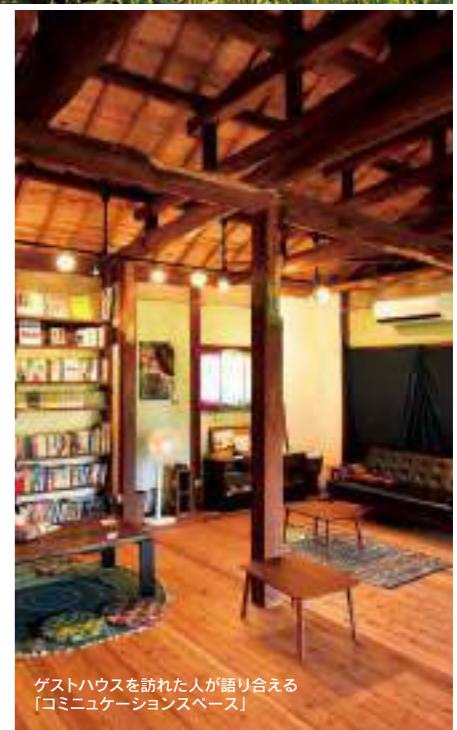


最近では、色鮮やかなヒオウギ貝の養殖が知られるようになり、島で唯一のゲストハウスもオープンしました。島育ちのオーナーが故郷に戻った際、島を訪れる人たちのために、出会い、交流の場になって欲しいとの思いが込められています。特別なサービスをあえて控え、この自由な空間を利用して、気の合う仲間と日の暮れるまで色々な話をしながら、意見をぶつけ合ったり、笑ったり。騒がしい街中から離れ、雑音のない静かな島で、新しいアイディアを考えたり。気分転換に潮風が気持ちいい浜辺を歩いてみたり。「ゲストハウスのオープン記念で餅つきをした時には、何組かの家族が

参加してくれて、子供たち同士が仲良くなつて島を駆け巡る姿がありました。大人同士も一緒に餅つき準備したり、話をしたり、いつのまにかお互いの距離を縮めて笑い合って過ごしました。こういった仲間や、家族、自分との繋がりを深める時間に使ってもらえば嬉しい。」とオーナーの後藤さんは語ります。



「自由な発想で使って欲しい」とオーナーの後藤さん





大島

Oshima

島の暮らしに寄り添う旅

静かな漁村に流れる穏やかな時間

透き通る海に抱かれた港には一本釣りの漁船が浮かぶ

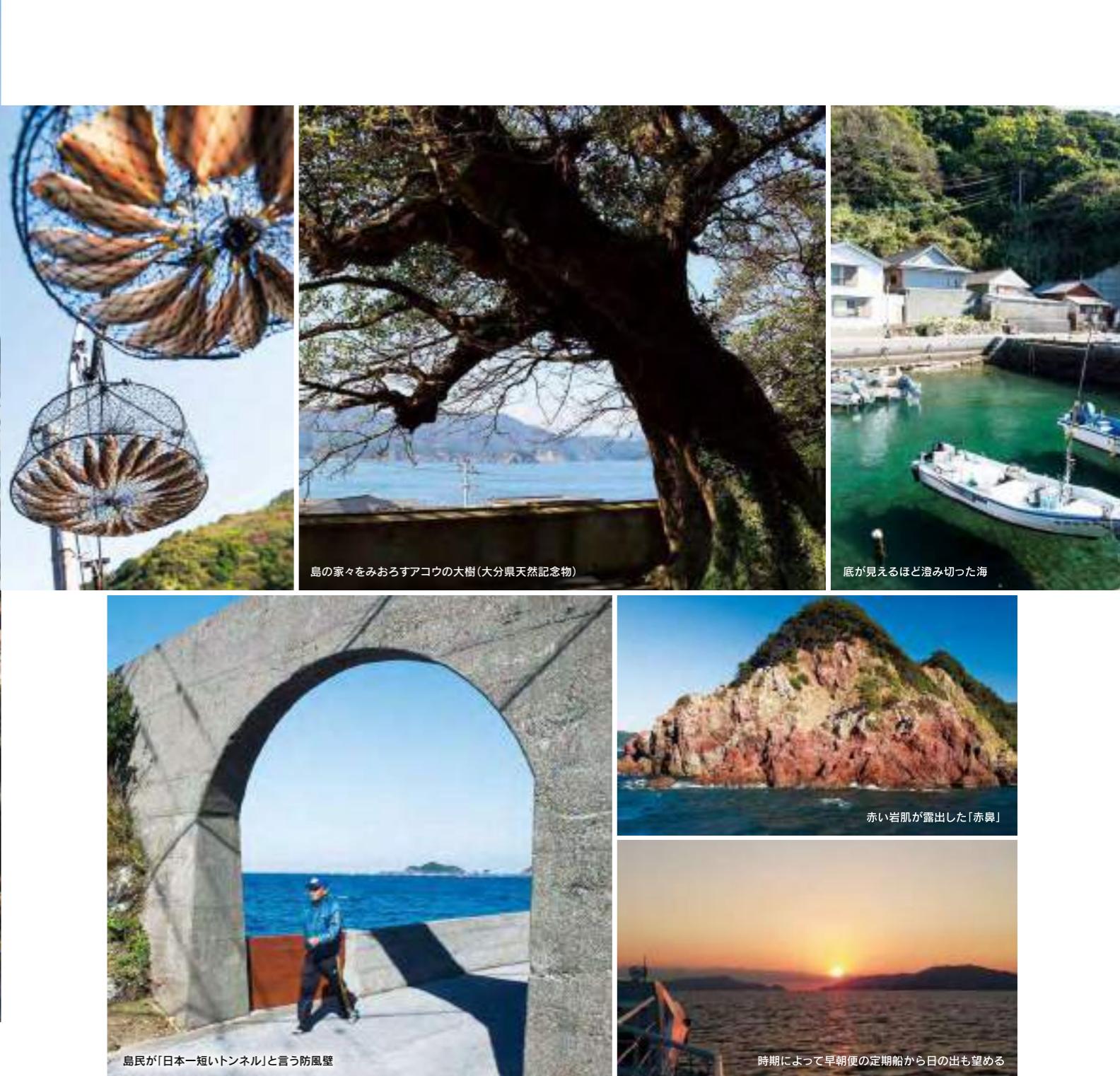
九州最東端の岬にいたる鶴見半島を右手に見ながら波間に旅する船の上。

早朝の便から望む朝焼けは心打たれる海の原風景。

島の浜辺に打ち寄せる、透明な波の水底に沈む赤い石、赤い岩の断崖は地球の不思議。

荒海に削られた絶壁を背にし、一本釣りの技と歴史を持つ

ここは生糸の漁師たちの島。



鶴見半島の先端から600mに位置する大島。

鶴見大島、または豊後大島と呼ばれることも。

集落がある静かな港側と、荒波に削られた断崖絶壁や

海食地形の岩々がありなす

外海側という相反するふたつの顔を持つ島です。

ここは、島民の暮らしがあるだけの島ですが、港では水底にくつきりと
船影を映し出すほどの透明度の高い海がひろがります。

集落の路地を入ると、戦国の武将を祀ったと伝えられる加茂神社があり、
境内には樹齢400年を超すアコウの巨木に目を奪われます。

無数に伸びる木根は今もなお成長中で、堂々たる姿に自然のパワーを感じます。

大島「一本釣り」は操船から仕掛け、釣り上げまで全て1人で行う伝統漁法です。

現在は一本釣り漁師も減りつつありますが、一本釣りで水揚げされる

早潮で育まれた天然のタイやイサキは、佐伯の自慢の品になっています。





無垢島 Mukushima

つばき咲く素朴な島で

数千本のツバキに託す島の名産
自然の中で楽しむ釣りや磯遊び

狭い瀬戸を挟んで、地無垢島と沖無垢島の2島からなる
無垢島。椿アイランドと言われるほど、開花シーズンには島の斜面が赤い花の色に染まります。この実から作られた椿油は、新鮮な魚介類と共に島の特産に! 夏休みには自然体験観察会もあり、磯観察や化石採集、天体観測などを楽しめます。

無垢島特産
純度100%良質の椿油



数千本の椿の木から採れる椿の実

網代島 Ajirojima

太古の地球上に夢馳せる

島に眠っていたのは
2億4千万年前の星のかけら
太古の地球を物語る小さな世界

干潮時には、砂の道で陸続きになる
網代島は、2億年以上前のチャート
(堆積岩)が地表で見られる貴重な
島です。黒、紫、緑、赤...と次々に
色相を変えて重なる地層が物語る
のは、太古の地球の歴史です。
さらに、地層からは、世界でも最古と
いう流れ星のかけら“宇宙塵”的発見
で、解き明かされてゆく宇宙の謎。



陸続きにもなる網代島

古代のチャートが重なる地層



夏場はカヤックを楽しむ人たちも

おおいたリアスの海の島めぐり

イベント & 地域情報

Event & location information

黒島 白杵市

佐志生海岸の沖合300m
周囲約3km 面積約0.05km²



黒島キャンプ 海水浴場

南国を思わせる島で楽しむ夏のリゾート。島の裏側にも透明度の高い海岸があり、アクティビティも豊富です。

営業期間 6月上旬~8月下旬
黒島キャンプ海水浴場
海開き/6月上旬
お問合せ 黒島町 0972-68-3939

島イベントの 開催

日豊海岸国定公園内の無人島コスプレイベント。九州はもちろん、全国的にも珍しい企画です。

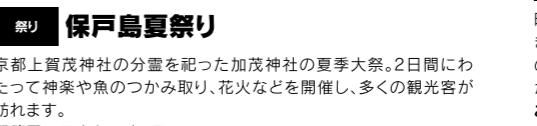
開催日 年数回開催予定
お問合せ ☎090-6035-8148
(担当/中野)

保戸島 津久見市

津久見港から約14km
周囲約4km 面積0.86km²



保戸島の情報は
「保戸島.com」で!



祭り 保戸島夏祭り

京都上賀茂神社の分霊を祀った加茂神社の夏季大祭。2日間にわたって神楽や魚のつかみ取り、花火などを開催し、多くの観光客が訪れます。

開催日 7月上旬の土・日

穂門島大川

保戸島ならではのマグロ料理店。名物ひゅうが丼やマグロの心臓の鉄板焼、コラーゲン豊富なかぶと焼き、マグロのコース料理など、マグロをとことん堪能できます。

お問合せ ☎0972-87-2024
※要予約

かずまき

明治時代に対馬より伝えた伝統菓子「かずまき」。後継者がなく一度は途絶えたこの銘菓を、島の若者が再び対馬で製法を学び復刻しました。ほかにもレモンケーキや焼きドーナツもオススメ。

お問合せ 穂門の郷 0972-87-2831
※売り切れ次第閉店



大島 佐伯市

佐伯港から15.5km
梶寄港から2km
周囲約12km
面積約1.9km²



祭り 大入島トンド火まつり

神武天皇東征のおり、島を船出する際に航海の安全を祈つてたき火をしたのが起源と伝えられる伝統行事。10mを越す高さのトンド(炎)が燃え上がり、倒れた火柱から松の枝を拾つて1年間の無病息災を祈ります。



祭り 里の駅・海の駅 大入島食彩館

島でとれた旬の素材を中心とした
食事や特産品作り体験を楽しめます。

営業時間 9:00~18:00※毎週水曜日・年末年始休まず
お問合せ ☎0972-23-2535

アクティビティ レンタサイクル

大入島をサイクリングで回るのも爽快! 約2時間で島を一周できます。(約17km)
受付 9:00~17:00

料金 大人用/3時間300円※1時間毎100円加算
タクシーム自転車(2人乗り)/3時間700円※1時間毎100円加算
お問合せ ☎0972-23-1584(海人夏館)

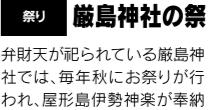
スポット 壇の窓 (大島の海蝕洞)

大島東側の壇の鼻に穿たれた大きな海蝕洞。島内での陸路はありませんが、鶴見半島と大島の間の“元の間海峡”を眼下に望む段々展望所より一望することができます。

釣り人には、磯釣りのスポットとしても知られています。

屋形島 佐伯市

蒲江港より約3km
周囲約3km 面積1.2km²



祭り 嶽島神社の祭

弁財天が祀られている嶽島神社は、毎年秋にお祭りが行われ、屋形島伊勢神楽が奉納されています。

開催日 10月最初の日



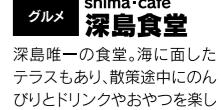
スポット 屋形島 ゲストハウス

素泊まりを基本とした宿泊施設。コミュニケーションスペースを活用しながら自由に過ごせ、島暮らしを体験できます。

料金 ドミトリ-1人3,000円~
個室1人4,000円~
チェックイン/15:00
チェックアウト/10:00
お問合せ ☎090-9729-1203

深島 佐伯市

蒲江港より約12km
周囲約4km 面積1.1km²



グルメ shima-cafe 深島食堂

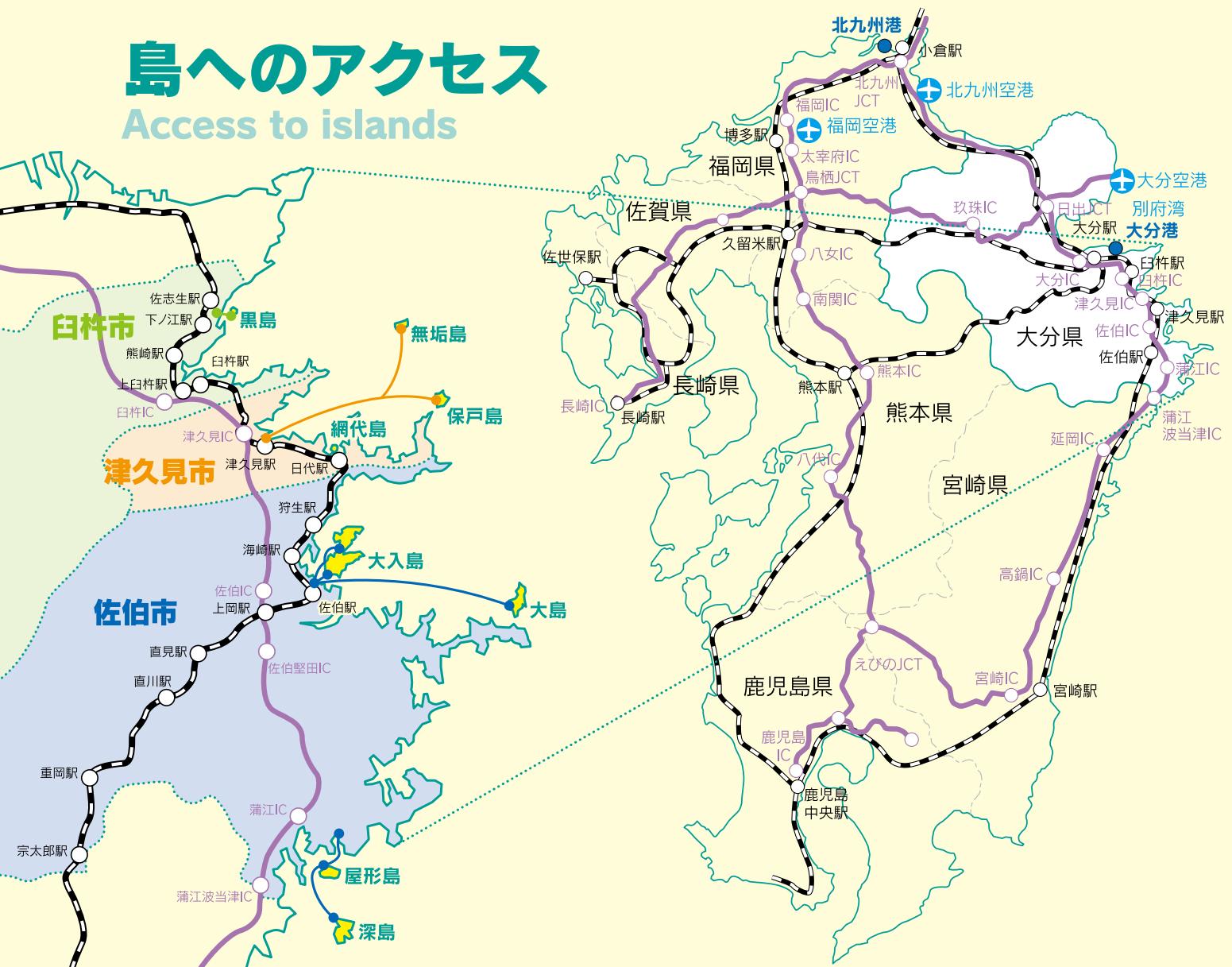
深島唯一の食堂。海に面したテラスもあり、散策途中にのんびりとドリンクやおやつを楽しめます。お食事は要予約です。

お問合せ ☎080-5289-2280

アクティビティ アクティビティ
周囲に岩礁が多い深島の海には美しいテーブルサンゴが群生。シュノーケリングやシーカヤックなど海遊びのスポットとなっています。この美しい海を満喫できるマリンスポーツ・アクティビティや島内探検などを、深島食堂を経営する安部さんのガイドで楽しめます。「シュノーケリング」1,500円~「シーカヤック」1,600円~「磯あそび」1,500円(各60分)港で遊べる簡単な釣りから船釣りまでの「釣り」メニューもあります。「海鮮BBQ」3,000円~
お問合せ ☎080-5289-2280
※シャワーは地区の有料シャワー(1回1人100円)があります。

島へのアクセス

Access to islands



- 黒島行き渡船場より渡船「島丸」で約5分
- 海水浴時間中 6:00~20:00随時運行／片道250円(こども125円)
(要連絡)
- お問い合わせ: 黒島荘☎0972-68-3939
※渡船場へはJR佐志生駅より徒歩約30分
白井ICより車で25分



津久見港より旅客船「ニューやまと2号」
「マリンスター」で約25分
●①日6便／片道860円(こども430円)
●お問い合わせ：有限会社やまと(チャーター可)
津久見事務所0972-82-2507
※港へはJR津久見駅より徒歩5分
津久見ICより車で約10分



佐伯港よりフェリー「大入島観光フェリー」で石間へ7分
●①15便／1人片道150円・自動車900円～
●お問い合わせ: 大入島観光フェリー 0972-23-2880
佐伯菖港より「マリンバス常栄丸」で堀切乗降場へ12分
●①11便／1人片道200円
●お問い合わせ: 豊海運 0972-22-2356
※港へはJR佐伯駅より徒歩10分・佐伯ICより車で12分



- 佐伯港より市営定期船「おおしまⅡ」で約30分
 - 1日3便(日曜・祝日の2便是休航)
片道1,130円(こども570円)
 - お問い合わせ: 大島航路事務所 0972-22-5711
※港へはJR佐伯駅より徒歩10分
佐伯ICより車で12分



- 蒲江港より定期船「えはあぐりいん」で屋形島（約10分）経由、深島へ25分
 - 1日3便
 - 蒲江-屋形島 片道300円（子ども150円）
 - 蒲江-深島 片道710円（子ども360円）
- お問い合わせ：蒲江交通（09072-43-3971（チャーター可））
- ※港へはJR佐伯駅よりバス約70分、蒲江ICより車で約10分



潮位により島に渡れないことがあります。
詳細は津久見市観光協会ホームページをご覧ください。

詳しくは各市の観光協会で検索！

